

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 IWC国際市民の会

1 事業の趣旨・目的

現在、東京には数多くの外国人が生活しており、今後もどんどん増える見込みです。そして現職の先生は、外国人の生徒が入ってくると非常に大変です。そこで、小中学校を退職された先生方に過去の経験を生かしながら指導法を勉強していただきたく、この講座を開講しました。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2009 年 9 月 28 日	HRST 研究所 「ゆー ホール」	伊藤美里 松村恵巳 鈴木 江里子 草薙 愛 牧野玲子	担当分担と授業 内容	外部講師とIWC教師との分担打 ち合わせ 授業内容の確認
2009 年 10 月 10 日	HRST 研究所 「ゆー ホール」	伊藤美里 松村恵巳 鈴木 江里子 草薙 愛 牧野玲子	IWC・JSLの実 習の仕方につい ての打ち合わせ	教案指導・教案チェック・ 実習の講評等についての担当者 決定
2009 年 10 月 30 日	HRST 研究所 「ゆー ホール」	伊藤美里 松村恵巳 鈴木 江里子 草薙 愛 牧野玲子	IWC・JSLの実 習の仕方につい ての打ち合わせ	教案指導・教案チェック・ 実習の講評等についての担当者 決定
2010 年 2 月 1 日	HRST 研究所 「ゆー ホール」	伊藤美里 松村恵巳 鈴木 江里子 草薙 愛 木村 健	今回の反省と次 回の問題点	実習体験はよかったが同時に 2 グループ進行すると、自分が担当 していると見学できないグループ があるので、次回は要検討。

【写真】(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)

写真



企画委員会の会議風景 その1



企画委員会の会議風景 その2

3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 退職職員日本語養成講座
- (2) 養成講座の目標 小中学校を退職された先生方に外国人の子どもへの日本語教授法
- (3) 受講者の総数 8 人
- (4) 開催時間数(回数) 40 時間 (20 回)
- (5) 参加対象者の要件 東京都の小中学校退職教職員
- (6) 受講者の募集方法

ホームページと東京都退職教職員連絡協議会を通じて各先生へ配布

(募集のチラシ添付)

- (7) 研修会場 HRST研究所「ゆーホール」
- (8) 使用した教材・リソース

日本語教授法の参考リスト

日本語教育能力検定試験の出題範囲

にほんごをまなぼう 1

小学漢字辞典

高校受験情報誌

各先生方の創作資料

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
11月2日 10:00-12:00	ガイダンス・カリキュラムの説明。 会の成り立ちと運営方法	IWC国際市民の会 理事長 教師 伊藤 美里	7人
11月6日 10:00-12:00	日本語教育と国語教育 学習者のニーズと目標 日本語の教科書 (主として年少者用) 参考書の紹介	元国際救援センター教師 澤村三恵子	8人
11月9日 10:00-12:00	日本語の文法・文型 (用語の説明と変化) 動詞・形容詞・使わない 用語	元国際救援センター教師 澤村三恵子	8人
11月13日 10:00-12:00	日本語の音声の特徴 文字・表記	元国際救援センター教師 楢山親子	7人
11月16日 10:00-12:00	書き方の指導 日本語の 語彙 教材・教具 年少 者と成人学習者の違い	元国際救援センター教師 牧野 玲子	8人
11月20日 10:00-12:00	日本語の教授法(含むV TR) 個人教授とグルー プ教授	元国際救援センター教師 楢山親子	7人
11月27日 10:00-12:00	異国の言葉を習うと言う こと。スペイン語(カタロ ニア語)による授業体験	IWC国際市民の会 教 師 ミネルバ	8人
11月30日 10:00-12:00	保護者に対する対応法	IWC国際市民の会 副理事長 教師 松村 恵巳	7人
12月4日 10:00-12:00	直接法による日本語指導 の実践例	IWC国際市民の会 教師 所きく子	7人
12月7日 10:00-12:00	『にほんごをまなぼう』 の使い方	IWC国際市民の会 理事長 教師 伊藤 美里	8人
12月11日 10:00-12:00	授業見学 教案の作り方の説明	IWC国際市民の会 教師 所きく子	8人

12月14日 10:00-12:00	外国人の発音の矯正 (音声学)	IWC国際市民の会 理事長 教師 伊藤 美里	7人
12月18日 10:00-12:00	日本語指導に使う教材・ 教具の実際的な使い方 (教案回収)	IWC国際市民の会 教師 滝沢美紀子	8人
12月21日 10:00-12:00	教案返却と講評	IWC国際市民の会 教師 中野 薫	8人
1月15日 10:00-12:00	実習体験(1)	IWC国際市民の会 教師 西前 悦子	8人
1月18日 10:00-12:00	実習体験(2)	IWC国際市民の会 教師 中野 薫	8人
1月22日 10:00-12:00	実習体験の講評	IWC国際市民の会 副理事長 教師 松村 恵巳	8人
1月25日 10:00-12:00	文化・習慣の違い	元国際救援センター教師 牧野 玲子	8人
1月29日 10:00-12:00	JSLでの体験談	IWC国際市民の会 理事長 教師 伊藤 美里	8人
2月1日 10:00-12:00	懇親会(質問・反省・意見 交換など)	IWC国際市民の会 副理事長 教師 松村 恵巳	8人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート(別紙)

② 実施主体からの研修内容結果評価

当会で実施している外国から子どもたちへの日本語教育の実施状態を見学した結果、各地域にも、もっと広めるべきとの評価をいただいた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

当会は現在、品川区の外国人の子どもを中心に展開しているが、さらに広範囲に同志とのネットワークを作り、拡大していきたい。このような計画がを企てている所から依頼があればアドバイスに伺う。(ネットを見て実際訪問してくる団体有り)

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

成人クラスの事業と総合的ネットワーク化を計っている。

② 研修後の人材活用

今回の聴講者に希望を取り、小・中学生のみならず、高校入学クラス・成人クラスの日本語教師の活動に積極的に参加していただく。

(12) 今後の課題

今後、増々外国人家族の来邦が多くなると思われる中、子供、大人に係わらず早急に日本語教育をするべきであるが、短期間に安価で習得させるとなると日本語教師の不足、それに対する行政の支援体制など問題点は多い。

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(1)

氏名 Y.S. さん

11月から受講して、まず感じた事は、普段何気無く使っている日本語を学ぶ立場から見ると知らない事が多いという事でした。紹介された、金田一春彦さんや鈴木孝夫さんの本を読み、改めて日本語は世界に誇れる言語であると知りました。

一年前まで教師をして、何人か片親が外国人の児童を教えました。この品川区のような系統的で短期間に毎日集中して日本語を教わることはありませんでした。今、ここに通っている子ども達は恵まれていると思います。

受講を振り返ってみますと、日本語教育の指導法を教わり、11月末にはミネルバさんからカクローニア語を初めて習いました。大変新鮮で楽しく授業を受けることができました。授業を受ける立場になると、教える時には見えない事や気をつけるべき事がわかり、大変参考になりました。

教材の工夫や指導法の工夫で、楽しく日本語が学べる事がわかり、日本語の習熟が深まるだろうと思いました。

1月18日(金)に授業をさせていただきました。久しぶりに子ども達の前に立ち、ワクワクドキドキしました。子ども達は集中して懸命に先生の指示に従い、目に見えて理解していました。意欲的に日本語を学ぼうとする姿勢に驚きました。個別でなく数名で学び合う事も互いに刺激になっているので、母国は各々違っていても立場が同じで、ここで学び合う事で、きっとよい友情も育めると思いました。良い経験をさせていただきました。ありがとうございます。

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(2)

氏名 K.I. さん

日本語とは、外国人に教えるの心、実に難しい言語であることと深く認識したことが、受講の感想としては第一にあられます。英語とくらべて、学ぶべき字数、文法的法則性の不定形なこと、まさに一筋縄ではいかないことに、目目の極みです。そのような難しいことばを、全く日本語を知らない外国人の子供たち、大人たちに、教えるべく日々努力されている講師の先生方に脱帽するばかりでした。

子供達に、助詞を認識させるために、様々なフラッシュカードを作りされているなど、分かり易くするための工夫を毎回準備され、授業に臨まれていることにも、感心致しました。

実際指導は、少人数対象なので、指導にそんなに困難は無いのかも、先入観があったのかも、母語の違い、多様な文化を背景にしている生活条件・家庭環境の複雑さを抱えているなど、これまた大変難しいものがあることを納得しました。

講習会での事前学習で、楽しく、様々な項目に取り組めたので、実際指導も、気持的ではあるが教案作りや指導から出来ずした。しかし後で考えてみると、反省点多々です。「です」「ます」ではない言葉使いをついしてしまったり、板書の仕方が、今一だったり、「分かり易く」と意識していたのに、説明に走ったり等。やはり不慣れなことには、もっと細心の準備が必要だったと。

最後になりましたが、私用で2回欠席しましたが、補講用のビデオを準備していただけたこと、おたたく応待いただけたことに心から感謝しております。

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(3)

氏名 M.H. さん

受講に際して：久々に生徒(学生)に居るのは、良いものですね。大学卒業以来、長い間、音楽科の教師をしていましたが、他の教科(今日は日本語)を教える立場で学習できたことは大変良い経験でした。日本人の私には、日本語がいかにむづかしい言語であったのかと、改めて実感いたしました。そして外国人には、どの様に感じられるのでしょうか。興味はつきません。

教室見学に際して：まず、特に指導の先生方の熱心さと、生徒の学習への取り組み姿勢に感心しました。出身国も学年も異なる中で、ただひたすら日本語を学ぶ姿勢は、今の日本の生徒が失われてしまった何かを思い出させてくれます。

施設に際して：学習環境を整えてやりこんでですね。何度も話題に上りますが、せめて1グループ1教室に。何年か前から区教委たり、当該校に申請はしているとのことですが、今でも何も解決されていません。IWCがあっても冷遇されている様な印象を受けます。子供達のためです。がんばって下さい。

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(4)

氏名 S.T. さん

3月で「にほんごを 学ぶほう」を終って卒業することになりしました。そのおかげのなりカリキュラムに感じました。

私達も3月で「日本人が 試運転でふる」として持って来て下さり、ありがとうございました。

又その熱意と多くの先生方の中の拓でネットワークにも繋ぎました。毎回毎回が大変充実していました。あらためて日本語について考える機会をもらい楽しかったです。

今フォロを見返してみると、3回目、4回目、5回目が大変な所で(私にとって)身についていないと思います。第1にやりなおしという感じでした。

9回目のミネルさんの回は楽しませてもらいました。その後はあつという間だった気がします。

熱意を持って 誠心誠意教えて下さってありがとうございました。

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(5)

氏名 R.K. さん

20回にわたる 懇切なご指導、まず感謝しております。本当に勉強に
ごさいました。それぞれの回での2時間、本当に充実した時間であ
りました。国語科教師としての40年余の経験の中でも、こんなに
未経験の分野があったのだなあというのが、今の実感です。

既に10年ほど前に佐々木瑞枝「外国語としての日本語」とチェコ人の
ネウストフナー「外国人とのコミュニケーション」と一通りは読んでいたが、
単に本を讀んだということ、実践されていらいやる気持の、いわば実践者とは
迫力が違いました。現在もなお実践なっていていらいやる気持のお話には
すべて納得力がありました。貴重な体験談、面会く、貴重でした。

さて1回ごの学習で最も印象に残ったことは、(どんなにともうかがうか)

2日間におわたった「実習体験会」でした。こういった公開授業は前々
ぶりだったでしょうか。あまりはしゃぎ回すが、やはり緊張はしました。快
緊張でした。それにしても生徒諸君の日本語、なかなかのものでした。
日本語はむずかしいもの、という従来の印象は、少し修正が必要か
と思いました。TVなどで見る外人さん達の日本語、目とつづいて
聞くと、日本人?と考えてしまいます。

ちやうど気になるのは、学習環境です。(どんなにおっしゃっていただけますか)

複数のクラスも同一の教室で授業するのは生徒の学習意欲を減退
させるだけでしょうか。理事をはじめすべての先生方がお悩みのこと
なの? 何とか解決したいものです。空教室はあるのですか。

さて、もう1つは講師の先生方の体験談。どの企業にも言われて
いることですが、「失敗事例に学ぶ」ということです。どんな失敗事例が
オープンされるのでしょうか。楽しみです。

3ヶ月にわたって貴重な体験をさせて頂きまして、有難うございまして。
この体験を生かして、お役に立てればと思っております。今後のこの日を大切にします。

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(6)

氏名 M.Y. さん

都退教から「退職された教職員の皆様に！外国から来た人に日本語を教えませんか！」というチラシが届いた時 何も迷うことなく「講習に行ってみたい」と思いました。足立区の小学校に勤務しておりました時に何人かの外国から来た児童に出会いました。中には言葉がわからないためかなり消極的になっている児童もいて、なんとかしてあげたいという気持ちになったことを思い出しました。

果たして音楽しか教えたことのない自分に可能なことかどうか、いったいどんなふうにするのだろうか？想像もつきませんでしたがついにやってみようと思い 申し込みました。

初日に伊藤理事長のお話を伺い、深く感銘を受けました。年齢を伺い、目標をもって日々前進していらっしゃるとこんなにも若々しくいられるのかとさらに驚かされました。

講習をうけるにつけ、何年も使ってきた日本語についてわかっていないことも沢山あることに気付かされ、文法などもすっかり遠ざかっていたため改めて勉強し直すなくては！と感じました。いろいろな先生方に教えて頂きましたが、どの先生も素晴らしいお人柄でたくさん学ばせて頂きました。感謝致しております。

ですから、IWC に週2回参りますことがとても楽しかったです。そして受講者の仲間の皆さんがまたまたすてきな皆さんで、たくさんのご存じで会話もはずみ2時間が短く感じられました。今ではお別れするのが辛いくらいです。

授業はどなたか代表の方がなさって下さればいいなと引っ込み思案でしたが、結果的には全員やらせて頂けて良い経験ができたと思います。ありがとうございました。退職後久しぶりの授業でしかも音楽ではない授業で不安もありましたが、実際やってみるととても楽しく充実感がありました。自分はやはり教えることが好きなのかも知れないと思いました。

山中小学校でのお手伝いができたらなあと思いますが、2つの問題点があります。

一つは今まで国語をきちんと教えていらした先生と違って力量不足が心配です。受講中の会話の中で この内容は〇年生にでてくるとかきちんとご存じの方がいらして自分との違いを感じますし、漢字の書き順もきちんとやり直すなくては心配です。

もう一つは自宅からここまで2時間（余裕を入れて）往復4時間という時間的なことと交通費もかなりかかることです。

一つ目の問題は前向きに考えて自分の勉強として頑張ってみたいと思います。二つ目の方は時間がかかっても週1回くらいなら頑張れるかなと思います。交通費はどれくらい支給していただけるのかお伺いしたいです。

参加して良かったとつくづく思います。 本当にありがとうございました。2010/01/28

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(7)

氏名 N.H. さん

40時間 毎回充実した時間が持てました。このような勉強をさせていただいた事に感謝致します。有難度うございました。感想を箇条書きで。

1. 日本語を母語としない人々からは我々の国語も外国語である、という視点から認識したことは大変に興味深いものでした。大変なご苦労や試行錯誤の結果で、日本語教育がいくつかの間違いを正して大系化されていることも多くの資料のご紹介で知りました。今後何冊かは手許に置き、今回もきっかけに勉強してみたいと思います。それとはとも、日本語のすばらしさ(豊かさ、細やかさ)を再認識致しました。日本語を生み出した日本の文化の素晴らしさ、どの国にも負けないものである。
2. この学園の方針として理事長をはじめ携わっている方々が異文化の中にとけ込むためにまず「礼儀の大切さを教える」としているのに感謝しました。読み書きが不十分だったり発音があやふやと聞き取りがきけずまいまいように努力されている彼等に対する「思いやり」の方針をあの生徒達が充分理解して頑張っている、と思っています。
3. それと同時に「国際化」と叫ばれて久しいのに日本の社会の未熟さを恥しく思います。異文化に入ってくる異文化を同化させることばかりで日本人は逆に「違い」にも敏感で、排除する気持ちも強いのかとも思われます。相手の存在をまず「偏見なく全て受け入れ認める」ところから始まる人間関係は、日常生活にも本当に大切です。私も今後心して過ごしたいと思っています。
4. 最後の座談会でも申しましたが、受け入れ側の制度、設備があまりにも貧しい。そんな大変な中でも子供達の為に理事長はじめスタッフの方々が真摯に力強く前向きに明るく尽されているのに感動です。今後皆様方には健康に留意されて過ごされることをお祈り致します。

講習会受講、教室見学の感想

受講生に対するアンケート(8)

氏名 K.Y. さん

日本語の複雑さや多機能(?)なことはこれまでも折にふれて感じてきたことはありますが、この講座で学びながら、毎回のようにあらためてその難しさを痛感させられました。ごく身近な普段使いの言葉に沢山の難しさがあることには、初めて気づかされることが多く、オーバーなようですが、衝撃を覚えました。それは、いかに自分が知識不足で「不見識」かということでした。

“日本語で日本語を教える”ことにも共感し納得しています。このシステムを作り上げられた方々のご苦労は大変なものだったことと頭が下ります。そのシステムによって、テキストも使う子ども達は随分と楽になっているのだと思います。実習の教案作りでも(指導内容によっては思いますが)指導のポイントが明示されていたので、それほど困難は感じませんでした。実際の子ども達との言葉のやりとりが不安でした。実際は子ども達に助けられて何とか実習を終えることができました。中学の教師時代にも自由奔放に指導する子ども達がフォローしてくれていたのと同じだと感謝しました。

講座の内容はどれも有意義で、カタコト英語も楽しかったです。授業見学や実習で出会った子ども達は、つらい状況の中で余分な(?)勉強をよく頑張っているなあと感じました。

先生方はとても熱心で、温かく優しく丁寧で、頭脳明晰で、前向きで、すごい！と驚くばかりで、本当に大きな刺激を受けました。

久々に中身の濃い充実した時間をいただきました。感謝しています。ありがとうございました。

退職された教職員の皆様に！

外国から来た人に日本語を教えますか！、
日本人と共生を図る活動で新しい生甲斐を作りを・・・！

2009年9月吉日

NPO法人IWC国際市民の会

NPO法人IWC国際市民の会では、今年度も文化庁の助成を受け、実践的な日本語指導法と、外国籍の児童・生徒の日本語及び学校生活指導法の講習会を下記の日程で行ないます。振るってご参加頂き、退職後の生甲斐ある生活を築いて頂きたいと思っております。

記

開催時期：

開始：平成21年11月2日(月) 午前10～12時

終了：平成22年2月1日(月) 午前10～12時

毎週月曜日と金曜日の午前中で、実施曜日が祭日は休み、今年度の

終了は12月21日(月)になり、来年は1月15日(金)開始2月1日(月)

まで、計20日間40時間のコースです。

受講料：無料。但し、教科書・資料代は、ご負担頂きます。

受講可能人数：15名（定数を満たした場合は、受付をお断り致します）

開催場所：品川区西大井2-21-6

NPO法人IWC国際市民の会 隣接ミニホール「悠」

（横須賀線又は湘南新宿線（普通）西大井駅下車徒歩5分又は、京浜東北線大井町下車、駅前から西大井駅行きにバスに乗り、約8分で伊藤学園前下車、進行方向へ約30メートル、右側の「さわやか信用組合」先を右折、2軒目のIWCの表示のある白い4階建てビル1階）（近隣地図）

申し込み期限；10月24日迄。

申し込み方法；申込書を郵送又はFAXで。

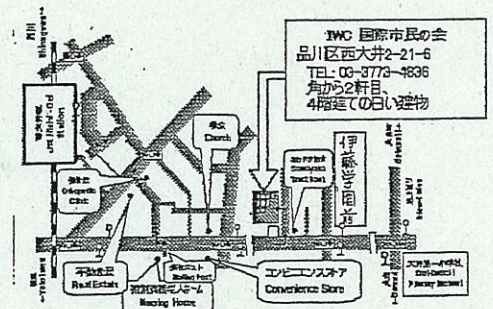
Eメールでも受け付けます。

郵送先：〒140-0015 品川区西大井2-21-6

NPO法人IWC国際市民の会事務局

TEL/FAX：03-3773-4836。

Eメール：iwc@npo-iwc.org



カリキュラムの概要。

- ①生徒のニーズに合わせた日本語指導と、生徒の国の文化・習慣の把握法。
- ②日本語学校、日本の小・中学校、個人ボランティアそれぞれの教え方の違い。
- ③日本語と国語の文法の違い ④日本語の文法の説明。
- ⑤文字の教え方と発音の矯正法 ⑥児童・生徒への日本語指導法
- ⑦個人教授の利点と欠点 ⑧相手の母国語で指導する利点と欠点。
- ⑨グループレッソンの利点と欠点 ⑩実習と反省及び懇親

その他受講者の質問に対する討議と回答。

御参考：

当会の活動実績

当会は1983年に港区で創立、実践的な日本語教室を有償ボランティア教師群によって始め、1986年に現在地に移り、1990年から、日本の学校に通う外国人子女の取り出し授業を自主的に実施しました。この活動は、1998年から品川区教育委員会の委託学級として継続的に実施中です。2006年、7年は、文化庁の高校入学支援日本語教室の委嘱を受け、通級生を100%希望校に進学させることができました。

当会は又、日本語を正しく教えることの出来る、先生を養成する日本語教師養成講座を行っており、既に29回目が終わり9月14日から第30回目の講習も始まります。

修了者の多くが、当会で活躍しています。中には当会で教鞭をとった経験を、海外で生かしている方も、既に海外での活動を終えて、再び当会で活躍されている方もいらっしゃいます。

申込み書

お名前： _____ ご住所： _____

連絡先；電話/FAX： _____

Eメール： _____

ご質問、希望があれば下記にご記入下さい。

平成21年度文化庁助成
退職教員対象の日本語指導者養成講座のご連絡

平成21年10月15日
NPO法人IWC国際市民の会
理事長 伊藤美里

遅い台風一過、やっと秋らしい日々が訪れて
来たようです。

このたび標記の講習会に申込み頂きまして、
心から歓迎申し上げます。

開催まで半月の日時がございますが、日程に
若干の変更がありますので、お知らせ申し上げ
ます。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

①ご案内時の講義開始時間の午前9時30分を
午前10時に変更 (冬季に向かうため)

②ご案内時の講習会終了日が1月29日から
2月1日に変更 (11月23日が祭日のため)

以上御了承の上、御来駕下さる様、お待ち申
し上げます。

若しご都合が合わず、ご欠席の場合には、是
非ご連絡をお願い致します。

気温の下がる季節故、くれぐれも御自愛下さ
いませ。

平成21年度文化庁助成退職教員対象の

日本語指導者養成講座のご連絡

(はがき1枚)